

## 平成25年度(第1期)総会・懇親会 開催!

昨年7月に一般社団法人となり、新たな事業展開を図る当協会の平成25年度(第1期)総会及び懇親会が、5月13日(月)午前11時より、東京都千代田区大手町のKKRホテル東京11階「孔雀の間」にて行われました。議長は森井理事長が務めました。

各議案は以下のとおりとなっております。

【第1号議案】平成24年度事業報告承認の件

【第2号議案】

- 1 平成24年度事業会計貸借対照表承認の件
- 2 平成24年度事業会計損益計算書承認の件
- 3 平成24年度事業会計勘定科目明細承認の件
- 4 平成24年度事業会計監査報告承認の件

【第3号議案】

平成24年度事業会計剰余金処分(案)承認の件

【第4号議案】

平成25年度(第2期)事業方針(案)承認の件

【第5号議案】平成25年度(第2期)予算(案)承認の件

【第6号議案】年会費改訂についての承認の件

議事は滞りなく進行し、第1号～第6号議案はすべて問題なく可決承認されました。

引き続き、当協会恒例の懇親会が、来賓各位を招き盛況に実施されました。

懇親会の主催者、来賓のスピーチを要約抜粋して登壇順にご紹介します。



一般社団法人  
日本パーキングビジネス協会  
理事長 森井 博氏

昨年7月、一般社団法人に移行し、本日、第1期の総会を皆様にご協力頂き、つつがなく終了致しました。

厳しい駐車場業界におきまして当協会は、微増ではございますが、会員数も増え、関西、九州等地方支部も活発に活動しております。

本年度の重要な事業方針は、前年度より掲げており

ます駐車場の多用途化のさらなる推進でございます。

EV充電ができ、自動二輪車が停められる。あるいは駐輪場として、カーシェアリングや荷捌き場として、また、Wi-Fiの発信基地として等、駐車場に関連する様々な機能を盛り込むことを、強く研究、推進してまいります。

また、もう一つの大きな眼目が【平面駐車場内の安全対策に関する検討委員会】の発足です。

これは、届出の必要のない500m<sup>2</sup>以下の駐車場について安全基準の認定制度が存在していなかったところ、平成22年、不幸にも駐車場内の設備が原因となる死亡事故が発生致しました。

このような事故の再発を防止する為、駐車場内の設備の安全性の確保について、当協会では有識者を含む検討委員会を組織致しました。

この委員会での提言を受け、協会として安全対策の取り組み方針を決定するとともに、会員及び駐車場関連団体等に研修会等を通じて広く教育・啓発を行い、業界の地位向上、社会貢献に寄与することを目的に検討してまいります。

他にもブランディング委員会の発足等、今までも増して広く活動を展開していく所存でございます。

また、当協会では、美しく、快適で、機能的かつ安全・安心な駐車場づくりを今後も進めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様をはじめ、関係官庁の皆様のご協力、ご指導をよろしくお願い致します。



国土交通省 都市局街路交通施設課  
課長 高橋 忍氏

本日は、日本パーキングビジネス協会の総会開催に際し、お慶び申し上げます。皆様方におかれましては、日頃より国土交通行政及び駐車行政の推進に対しまして、ご協力賜り、御礼申し上げます。

さて、この場をお借りしまして最近の取り組みについ

て報告させていただきます。

まずは、今年度の予算につきましてご紹介したいと思います。国会での審議も大詰めを迎えておりますが、国土交通省関係では、一般会計予算の国費総額が5兆743億円となっております。①復興・防災対策 ②成長による富の創出 ③暮らしの安全・地域活性化、に重点を置いているところです。

都市局としても、2つ大きなテーマがございます。1つ目が復興・防災対策です。今後、東南海地震の発生等が想定されており、津波に強い街づくりを進めるため、津波防災街づくりの計画策定指針というものを作っております。現在、パブリックコメント中であり、これを通じまして世の中に指針として出していきたいと考えております。

2つ目は、集約型都市構造に向けた都市の再生です。都市局では、有識者からなる都市再構築戦略検討委員会を設置しまして、4月9日に第1回を開催致しました。精力的に開催を致しまして、夏頃を目処にとりまとめ、できれば来年度の予算に反映していきたいと考えております。

この2点を中心に街づくりを支援していきたいと考えているところでございます。

また、駐車場について話題ということで、4点ほど簡単に申し上げたいと思います。

1点目は駐車政策の方向性ということです。昨年12月、都市の低炭素化の促進に関する法律が施行されました。環境に対する負荷の低いコンパクトな都市構造を作るために、附置義務駐車施設を計画的に集約して設置することを公共団体の条例で可能にしたところでございます。賑わいのある、活気ある街づくりと、それを支える駐車場の配置を計画的にどうしたらよいかということが、これからの取り組みとして重要であると考えております。

さらに人口の減少・高齢化や超小型モビリティの導入、あるいは自動車技術の進展といった、様々な動きが見られますので、その中で今年、柔軟な、あるいは積極的な駐車政策の展開がなされることを期待しているところでございます。

2点目は、充電施設の充実でございます。経産省で平成24年度補正予算で充電インフラ整備のために1千億円計上されたということもございまして、国土交通省では昨年6月にガイドラインを出してございまして、都市局

街路交通施設課としましてもこれに貢献しているところであります。こういった中で駐車場における充電施設の整備が積極的に進むことを期待しているところでございます。

3点目は自動二輪車駐車場への対応です。平成18年に駐車場法の対象に自動二輪車を含める法改正を行い、その後、皆様方に色々取り組んでいただいておりますけれども、まだまだ足りない状況にございます。四輪駐車場の一部を自動二輪車用に転用したり、駐車マスを四輪と二輪でフレキシブルに使用するなどの取り組みが行われています。引き続き、自動二輪車駐車場の整備にご協力をお願いします。

4点目、コインパーキングで事故が発生していることを受けて、貴協会が「平面駐車場の安全対策に関する検討委員会」を設置していただきました。駐車場の諸施設の安全性の検討を進められるとのことで、コインパーキングがより安全で安心して利用できるものになることを期待しているところでございます。

今後とも、皆様方の民間事業者としての知恵、ノウハウ、技術等のご協力を賜りながら、国土交通省と致しましても駐車政策に関して積極的な取り組みを進めてまいりますので、引き続き、よろしく申し上げます。

## 平成24年度パーキンググランプリ表彰式

続いて、平成24年度パーキンググランプリ表彰式が行われ、森井理事長より一般の部受賞者に記念の盾が授与されました。

また、会場には一般の部受賞作品3点及び小学生の部4点のパネルが懇親会終了時まで展示されました。

### 平成24年度パーキンググランプリ受賞者

金賞 会田 博美様 (株式会社アイバース)

銀賞 石井 正博様 (株式会社ナイキ)

銅賞 蛸名 明様 (蛸名保険事務所)

山中副理事長によるパーキンググランプリ受賞作品についてのユニークなコメントを交えた乾杯の挨拶後、各会員と来賓による懇親と情報交換が活発に行われました。

約1時間後、文山副理事長による中締めで閉会となりました。

PP